



3/10 誰もが投票しやすい環境を

移動期日前投票所の巡回や勝山高校との連携など、投票環境を整備する取り組みが認められ、勝山市選挙管理委員会が総務大臣表彰を受けました。
今後も、皆さまがより投票しやすい環境づくりに努めます。



3/25 「火の用心!」園児らが啓発活動

春季火災予防運動に合わせて、まつぶんども園の園児と女性消防団員が火災予防啓発のチラシを配付しました。
また、消防署では「火の用心」のシールを市内の菓子店に配付し、店員が来場客に防火を呼びかけました。



3/25 安全・安心を支える自動車

特設分団に新しく救助用資機材を搭載した消防ポンプ自動車と、消防署に災害対応特殊救急自動車が配備されました。
災害の多様化や、救急件数の増加に対応するために、最新の車両・救急資器材を活用し、市民の安全・安心を守ってまいります。



3/17 ご寄附ありがとうございます

4月から新1年生となる子どもたちの安全確保のためにと、福井エフエム放送株式会社から防犯ブザー 130個を寄贈いただきました。防犯ブザーは入学式のあと新1年生に配付しました。



3/18 長年の歴史を惜しむ

市内最後の市立園であった成器南幼稚園の閉園式が行われ、60年の歴史に幕を下ろしました。
式典には最後の卒園生5人に加え地域住民の皆さまも参加し、長年にわたり親しまれてきた幼稚園との別れを惜しまれました。

3/28 地域に思い出をつなぐ

成器南幼稚園の閉園に伴い、使用していた備品などを販売する「思い出をつなぐ115マーケット」が行われました。
思い出の詰まった物品が、地域の方や子どもたちへと引き継がれました。



JCHO-Column

どうしても どうしても

JCHO福井勝山総合病院
産婦人科診療部長 倉田和巳



今年の2月上旬、西日本の日本海側に冬型の気圧配置が強かった候、どうしても参列しなかった県外の法事に行ってきました。私の大学生時代に関わらせて頂いていた医療的ケア児、Sさん。享年37歳。若いのですが、最期の数年は入退院を繰り返していて本人・家族とも大変だったと思います。

Sさんのお父さんが数年前に亡くなられて、その後はお母さんに見守られての人生でした。外交的なご家族でしたので、医学生であった私もいろいろと関わらせていただき、勉強させていただきました。脳性まひとか、重症心身障害児とか世間でいわれますが、そのような人(とその家族)の置かれた状況を現在でもおぼろげながら思い浮かべられるのは、Sさん家族との時間を過ごさせてもらったおかげです。行事やキャンプ、あるいは単

なる雨の日風の日などでSさん家族の生活を垣間見ることができたのが今、財産になっています。

自分の半生を振り返ってみると、このSさんのように、今の自分を語るのにどうしても外せない出会いが何回かあります。4月ということで新たなスタートを切る方もおられるでしょう。よい出会いがあれば大事にしていただけるとよいかと思えます。きっとよい人生のバックナンバーになってくれます。

なお、法事後陸路空路が止まってしまい勝山に帰ることができなくなりました。そのため2月9日、当科外来で急に担当医変更させていただきました。ご迷惑をおかけしました。満中陰 納骨拒む 猛吹雪

